

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	のびっこらんど愛愛 (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 7日		~ 2026年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 7日		~ 2026年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	施設は、バリアフリー化など配慮されています。 遊具が設置しており、特に体を動かすことが好きなお子さんにとっては、楽しく活動できる環境でいます。	お子さんが安心・安全に利用できるように、設備等の点検や活動の検討を意識して行っています。	それぞれのお子さんの要望に沿った活動ができるように、柔軟に対応が出来る環境設定を行ってまいります。
2	お子さんの発達状態に応じた個別、集団の活動を行っています。	個別支援では、運動や手指操作、発信や理解など、それぞれのお子さんの発達ニーズに沿って、無理なく力をつけていける活動を提供し、集団支援では、スタッフやグループのお友達と様々な活動を通して、自信をつけていく事やコミュニケーションの力を付けるられる活動を提供しています。	更に、家族の皆さんと一緒に出来る活動も企画したいと思います。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援や、保護者との連携をより多く図れるといいです。	特に送迎サービスを利用しているお子さんの保護者さんについては、事業所に来る機会が殆どないため、話す機会が減ってしまっている状況です。	引き続き、保育参観や面談など保護者さんが事業所に来て、お子さんの様子などを共有する機会を作ります。
2	送迎サービスは行っているが、要望どおりに対応することが難しい状況です。	今の体制では、送迎を増やすことは難しいです。 (車輛や人員など)	引き続き、安心して利用できるように検討していきます。
3	外での活動が難しい状況です。	園庭がせまく、活動する事が難しいです。	近所の公園なども活用し、季節に応じて外での活動も実施していきます。